

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハNZアップ		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2025年1月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42 (回答者数)	32
○従業者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2025年1月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育、レクリエーション活動など様々な活動を通して、体験や経験を積むことが出来るようなプログラム作成。	運動療育やレクリエーションのチーム（年度ごとにチームの編成）を編成し活動内容の提案、会議で決定し活動内容をハNZアップ便りを作成し保護者様に周知を行い実行している。	利用者様や保護者様の要望も出来る範囲で取り入れていけるようにする。
2	運動療育の他、フリータイムもあり自分のしたいこと、やるべきことや余暇時間（自由時間）の過ごし方を選べる。	基本人員以上に職員を配置しているため、利用者が安心安全に過ごせるよう、職員も一緒に過ごしている。 学習の声かけや、児童同士の揉め事、喧嘩や怪我などのトラブルを事前防止できるようにしている。	自立を目指して、声かけの工夫や先回りの支援（お片づけや早すぎる声かけ、来所帰宅準備）をしすぎないようにしていく。
3	利用者様の状況や課題、保護者様のニーズを理解した上での個別支援計画書の作成と説明。	作成前は常勤職員でのモニタリング、カンファレンスを必ず行なっている。また、相談支援員がついている場合は情報共有を行い、担当者会議などにも参加している。更新月には面談を行い、直接の説明と普段の様子や困りごとなどの共有が出来る場を設けている。	引き続き継続し、日頃から送迎時など保護者ともコミュニケーションをとり、利用者様、保護者様が納得できる計画書を作成し丁寧な説明を心がけていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域、外部との交流が少ない。	小～高校生までの在籍と様々な学校から児童が集まっているため、平日は下校時間のばらつきもあり、ランドセル広場や児童館のような活動場への参加は難しい。メインである運動療育を必ず行なっていきたい。	学校休業日に住区などの催しなどの情報収集を増やし、もう少し積極的に参加出来るように務める。 またレクリエーション活動を通じて外部講師を招き外部との交流を増やす。
2			
3			